

大橋川出張所便り

●アオコ続報

8月中旬より宍道湖でアオコが大量に発生していますが、水温が下がってもしつこく発生しています。

先週（11月1日～5日）の状況



11月4日宍道湖(袖師沖)



11月5日宍道湖(袖師)

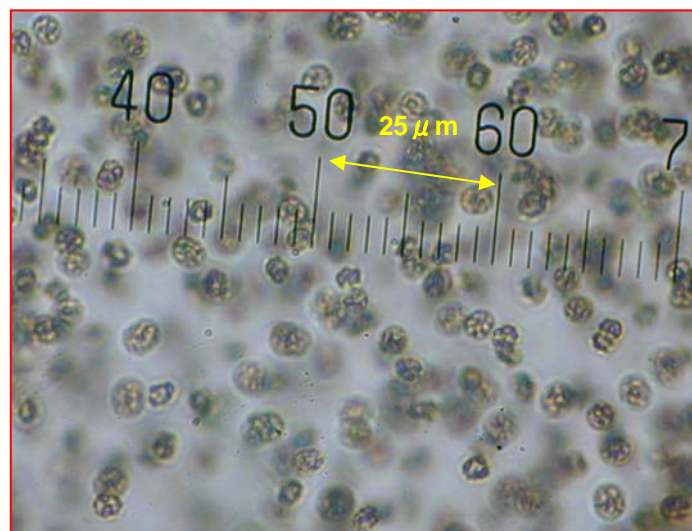
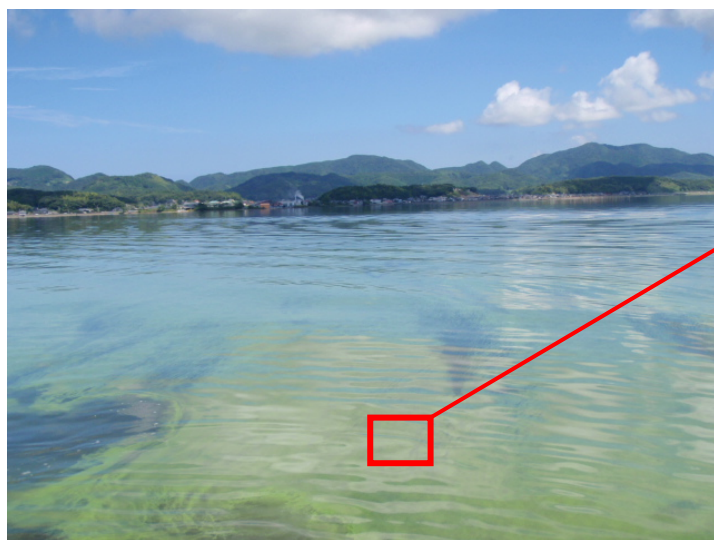


11月5日大橋川(宍道湖大橋付近)

～担当者からひとこと～

アオコにとって、繁殖するには厳しい環境となってきているはずですが、例年とは異なり非常にしつこく広がっています。

宍道湖のアオコについて（8月23日掲載）



1目盛=2.5 μm
1 μm=0.001mm

アオコの正体

発生種：ミクロキスティス(属)
(現在優占種:イクチオブラベ(種))

《特徴ほか》

浮遊性の藍藻で富栄養化の進んだ淡水域(低塩分濃度水域なども含む)に出現します。夏季に発生し、過去にも堀川、宍道湖等で大発生しています。

細胞内に含まれるミクロシスチンという物質は毒性があり、これを含む水を飲んで食中毒を起こした事例があるそうです。いまのところ、他の生物への影響は確認しておりませんが、引き続き、水質監視が必要です。

塩分濃度が上がったり、水温が低下すると減少していきます。現在は塩分濃度・水温ともに例年並みですが、繁殖している状況が続いており、注視しているところです。